

- 問1 津田梅子らが最年少の女子留学生として同行し、欧米の文明を視察したことで知られる政府の使節団を何という？
- 問2 1911年に日米通商航海条約を調印し、関税自主権の完全回復を達成した外務大臣は誰？
- 問3 日清戦争後に結ばれ、日本が台湾などを清から割譲されることになった講和条約を何という？
- 問4 不平等条約の改正を有利に進めるため、政府が欧米風の文化を取り入れる欧化政策の一環として建設した施設を何という？
- 問5 1912年に孫文を臨時大総統として建国された国を何という？
- 問6 明治時代、日本が製品を輸出する貿易へと構造を変化させる際、輸入して加工した中心的な原料を何という？
- 問7 三国干渉を受けて日本国民が耐え忍ぶ誓いとして広まった言葉を何という？
- 問8 明治時代に開通した、最初の鉄道路線の出発点となった駅を何という？
- 問9 明治時代に発生した足尾銅山の排水が原因で起きた公害事件を何という？
- 問10 『学問のすゝめ』を著し、個人の自由や独立の精神を説いた明治時代の思想家は誰？
- 問11 「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らず」という一節で有名な、福沢諭吉の著作を何という？
- 問12 1877年、西郷隆盛を中心とした鹿児島県の士族らが、明治政府に対して起こした日本最大規模の反乱を何という？
- 問13 文明開化の時期に日本で流行した、牛肉を野菜などと一緒に煮る料理を何という？
- 問14 自由党や立憲改進黨などが、政府に対して強く要求した、国民の代表による会議を開くための目標を何という？
- 問15 1874年に民撰議院設立の建白書を提出し、運動のきっかけを作った中心的な人物は誰ですか？
- 問16 明治時代の工業化の進展により、輸入に頼っていた状況から国内で自給できるようになり、やがて輸出品へと変化した繊維製品を何という？
- 問17 19世紀後半以降、欧米列強が工業製品の市場や原料供給地を求めて支配下に置こうとした特定の地域を何という？
- 問18 すべての国民が身分や性別に関わらず教育を受けるべきだという理念を何という？
- 問19 黒田清輝が留学先として学び、印象派の技法を取り入れるきっかけとなった国はどこ？
- 問20 明治時代、北方警備や開拓のために政府が統治の対象とした島を何という？
- 問21 義務教育の普及により日本国民の間で高まった、文字の読み書きができる能力の割合を何という？

## 答え合わせ・解説

|     |                |                                                                                                                                                 |
|-----|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 問1  | 答え<br>岩倉使節団    | 岩倉使節団は、1871年に岩倉具視を特命全権大使として欧米諸国に派遣されました。団員の中には、将来を期待された子どもたちもおり、その一人が後に女子教育に貢献する津田梅子でした。彼らは欧米で現地の文化や制度を広く学びました。                                 |
| 問2  | 答え<br>小村寿太郎    | 外務大臣であった小村寿太郎は、諸外国と粘り強く交渉を重ねました。1911年にアメリカなどの各国と新たな通商航海条約を結ぶことで、ついに日本は関税自主権の完全回復を達成しました。                                                        |
| 問3  | 答え<br>下関条約     | 全権大使の伊藤博文と陸奥宗光らが交渉し、1895年に下関条約が結ばれました。内容には朝鮮の独立の承認、賠償金の支払い、そして台湾、澎湖諸島、遼東半島の割譲が含まれていました。                                                         |
| 問4  | 答え<br>鹿鳴館      | 1883年、外務卿である井上馨の主導により、東京の日比谷に「鹿鳴館」が建設されました。ここでは連日のように華やかな舞踏会や宴会が開かれ、欧米の外交官らをもてなしました。しかし、多額の費用をかけたことや、極端な西洋化が国民の反感を招き、皮肉を込めて「鹿鳴館時代」と呼ばれました。      |
| 問5  | 答え<br>中華民国     | 1912年に南京を首都として成立した、アジア最初の共和国です。孫文が臨時大總統に就任し、それまでの皇帝による専制政治を終わらせました。                                                                             |
| 問6  | 答え<br>綿花       | 繊維産業は明治期の日本を支えた代表的な産業です。海外から安価な綿花を輸入し、機械を使って加工することで競争力を高めました。これにより日本の貿易は、原料輸入・製品輸出という近代的な形に変化していきました。                                           |
| 問7  | 答え<br>臥薪嘗胆     | 中国の故事に由来する言葉で、本来は復讐のために薪の上に寝て胆をなめ、苦痛を忘れずに努力することを指します。この言葉が当時の国民の間で広く使われ、国家レベルでの軍備増強運動へとつながっていきました。                                              |
| 問8  | 答え<br>新橋       | 1872年、新橋駅と横浜駅（現在の桜木町駅）の間で日本初の鉄道が開通しました。この鉄道は人々の移動や物流を劇的に変化させ、のちに全国各地へと路線が拡大していきました。                                                             |
| 問9  | 答え<br>足尾銅山鉱毒事件 | 銅山の精錬過程で排出された鉱毒が渡良瀬川に流れ込み、下流の農地を汚染して作物が枯れるなど深刻な被害を及ぼしました。これが「足尾銅山鉱毒事件」です。田中正造らが中心となり、政府に対して被害救済を訴える運動が展開されました。                                  |
| 問10 | 答え<br>福沢諭吉     | 慶應義塾の創設者である福沢諭吉は、著書『学問のすゝめ』を通じて、人間の平等や個人の自立の重要性を説きました。西洋の新しい知識や学問を広く伝えることで、日本の近代化に多大な貢献を果たしました。                                                 |
| 問11 | 答え<br>学問のすゝめ   | 『学問のすゝめ』は、福沢諭吉が著した全17編の啓蒙書です。人間は生まれながらにして平等であるという考えのもと、個人の独立には実学（社会に役立つ学問）が不可欠であることを説きました。当時の日本人に強い影響を与え、近代化を促す原動力となりました。                       |
| 問12 | 答え<br>西南戦争     | 1877年、政府の政策に反発した鹿児島県（旧薩摩藩）の土族たちが、西郷隆盛をリーダーとして担ぎ上げ、西南戦争を起こしました。最新の兵器を備えた政府軍（徴兵令による国民軍）に対し、旧式の装備が中心の土族軍は苦戦し、最終的に鎮圧されました。                          |
| 問13 | 答え<br>牛鍋       | 文明開化の象徴として、西洋から伝わった牛肉を日本の鍋料理の形式で食べる「牛鍋」が都市部を中心に大流行しました。これを食べることは文明的な態度であるとされ、食習慣の大きな転換点となりました。                                                  |
| 問14 | 答え<br>国会開設     | 板垣退助の「民撰議院設立の建白書」をきっかけに、国会開設を求める動きが全国的に広がりました。自由党や立憲改進黨といった政党が結成され、政府に対して議会を作るよう激しく要求しました。                                                      |
| 問15 | 答え<br>板垣退助     | 1874年、板垣らは「民撰議院設立の建白書」を提出し、政府の独裁的な姿勢を指摘して国会の開設を求めました。この動きが「自由民権運動」として全国へ広がり、政治意識の高い人々を巻き込む大きな潮流となりました。                                          |
| 問16 | 答え<br>綿糸       | 紡績業の発展により、日本国内で綿糸を大量に生産できるようになりました。これにより、輸入に頼っていた状態から脱却し、むしろ海外へ輸出するほどの主要な輸出品へと成長を遂げました。                                                         |
| 問17 | 答え<br>植民地      | 列強は、武力や経済的な影響力を用いてアジアやアフリカなどの地域を支配下に置きました。これが植民地です。支配を受けた国々は原料を奪われ、列強から工業製品を買わされるという不平等な関係を強いられました。                                             |
| 問18 | 答え<br>国民皆学     | 「国民皆学」は、すべての国民が等しく教育を受けるべきだという考え方です。これに基づき、学制が公布されて全国に小学校が作られました。これにより、性別や家柄に関係なく、学校で学ぶ機会が提供されることになりました。                                        |
| 問19 | 答え<br>フランス     | 黒田清輝はフランスへ留学し、西洋絵画の基礎や、光の捉え方を重視する「印象派」の技法を学びました。帰国後、その明るい画風は当時の日本の画壇に強い影響を与えました。                                                                |
| 問20 | 答え<br>北海道      | 明治政府はロシアなど周辺国の影響力を警戒し、この地の統治と開発を急ぎました。「開拓使」という役所を設置し、屯田兵による入植や農業・鉱業の開発を国家プロジェクトとして推進しました。                                                       |
| 問21 | 答え<br>識字率      | 学制の発布やその後の義務教育制度の普及により、日本全国で小学校教育が展開されました。その結果、全国民が読み書きの能力を身につけるようになり、識字率が劇的に向上しました。高い識字率は、近代技術の習得や新しい思想・文化の吸収を容易にし、日本の急速な近代化を可能にする大きな要因となりました。 |